

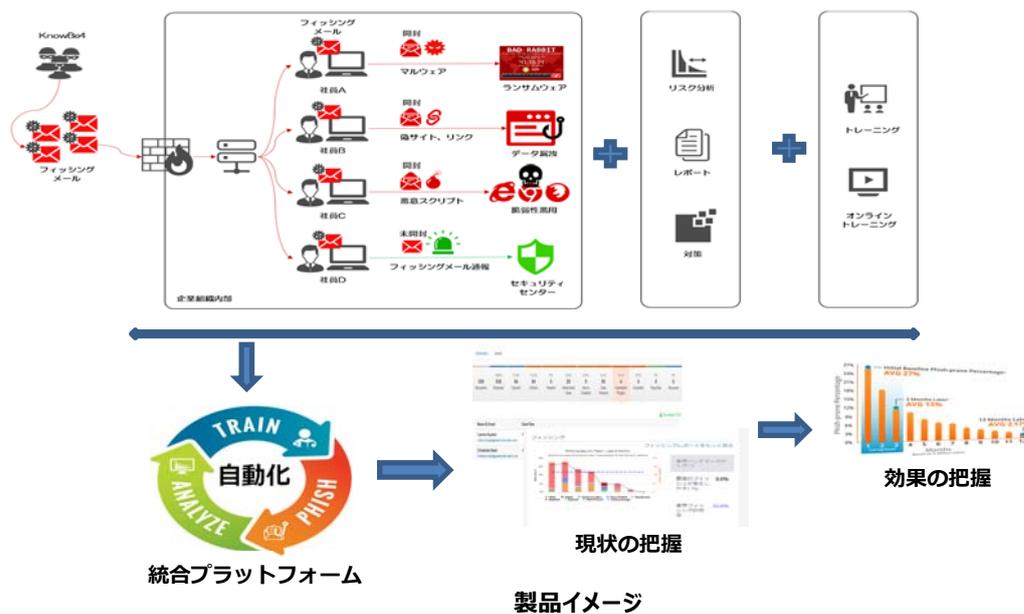
2019年6月3日
 株式会社東陽テクニカ

～“Interop Tokyo 2019”で初展示～
ソーシャルエンジニアリング攻撃を防ぐ
「KnowBe4 Human Firewall アセスメント&シミュレーション」の
販売開始

株式会社東陽テクニカ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：五味 勝）は、KnowBe4, Inc.（本社：米国・フロリダ州）と日本における販売代理店契約を締結し、システム面では防ぎきれないソーシャルエンジニアリング攻撃に対して「人」を「Firewall」に見立てて防御するためのソリューション「KnowBe4 Human Firewall アセスメント&シミュレーション」を2019年8月1日に発売いたします。

「KnowBe4 Human Firewall アセスメント&シミュレーション」は、社内へ向け模擬的なフィッシング攻撃（電子メール、USB、電話）を仕掛け、結果から個人ひいては組織全体のセキュリティに対するリスクレベルを可視化し、最適なオンライン教育プログラムを自動で提案し、「人」の面から企業のセキュリティレベル向上に貢献します。その導入企業数、効果からさまざまなアワードを受賞しています。

また、本製品を“Interop Tokyo 2019”（会期：2019年6月12日（水）～14日（金）、会場：幕張メッセ、ブース番号：6A04）で初展示いたします。



近年のサイバー攻撃はフィッシング、スパイフィッシング（標的型攻撃）、ランサムウェアなど電子メールやソーシャルエンジニアリングを活用したものが中心で、十分なセキュリティ意識を持っていない人や組織は常に大きな危険と隣り合わせであると言えます。万一被害を受けてしまうと、貴重な資産である顧客情報や製品開発情報が盗まれ、金銭的損失だけではなく業務停止や信用の毀損など、企業にとって多大な被害が発生してしまう恐れがあります。

例えばフィッシングの中でも成功率が高いと言われるスパイフィッシングは、各種セキュリティシステムを導入していても91%の攻撃が成功してしまうと言われていています（KnowBe4 社調査）。この被害を防ぐことができるかどうかは、最終的には個人のセキュリティ意識に依存することになります。そのためには常にセキュリティ意識を保つことが重要で、訓練・教育を自動化することには大きな利点があります。KnowBe4 社は人にフォーカスしてサイバー攻撃から身を守る“Human Firewall”の重要性を提唱し、実現できる唯一のソリューションベンダーです。

【主な製品特長】

- ✓ **“Human Firewall”を実現する統合プラットフォーム**
 - ・フィッシングシミュレーションによる個人レベルでのセキュリティ意識分析、可視化（フィッシュパーセントの測定）
 - ・分析結果から最適な教育プログラムを自動で提案（800種類以上）
 - ・実例を基に攻撃をシミュレーションできるテンプレート（3,000種類以上）
- ✓ **Web上に漏洩してしまっている企業アカウントやメールアドレスの情報を定期的に診断・報告**
- ✓ **クラウド型サービスのため、すぐの導入が可能**
- ✓ **世界の調査会社、企業が認めたサービス**
 - ・「Gartner Magic Quadrant for Security Awareness Computer-Based Training」において、この分野のリーダーとして位置付け（Gartner社：2018）
 - ・Security Awareness Trainingにおけるマーケットリーダーとして認める（Expert Insights社：2018）
 - ・ユーザーにとって価値があるサイバーセキュリティ教育プラットフォームとして認める（Frost & Sullivan社：2017）
 - ・ROI：127%の評価（Forrester Research社：2017）
 - ・24,000社を超える企業への導入実績

【製品データ】

- ・製品名：KnowBe4 Human Firewall アセスメント&シミュレーション
- ・販売開始日：2019年8月1日

【Interop Tokyo 2019に出展】

本製品を、国内最大級のインターネットテクノロジーイベント「Interop Tokyo 2019」で初展示します。

- 会期：2019年6月12日（水）～14日（金）
- 会場：幕張メッセ
- ブース番号：6A04
- ▽展示会公式サイト：<https://www.interop.jp/>

<KnowBe4, Inc.について>

KnowBe4 社は 2010 年 8 月に設立され、米国のフロリダ州に本社を構える世界最大級のセキュリティ教育ソリューションベンダーです。ハッキングに関する知見において世界でもトップクラスの人物である Kevin Mitnick 氏が CHO (Chief Hacking Officer) を務めています。2018 年には、注目を集める革新的なサイバーセキュリティ企業を評価する「Cybersecurity 500 (Cybersecurity Ventures 社)」で第 2 位にランクインしています。従業員数も 650 人を超え、今急成長している企業です。

KnowBe4 社 Web サイト : <https://www.knowbe4.com/>

<株式会社東陽テクニカについて>

東陽テクニカは 1953 年の創立以来、世界最高水準の“はかる”技術の提供をコアコンピタンスとし、最先端の測定機器の輸入販売と自社開発製品の提供によって、官公庁、大学ならびに企業の研究開発を支援してきました。技術分野は、情報通信、自動車計測技術、環境エネルギー、EMC (電磁両立性) 試験、海洋調査、ソフトウェア開発支援、ライフサイエンスなど幅広く、米国や中国の現地法人などを通じて世界にも提供しています。また、2016~2017 年にかけて新しい 3 組織「セキュリティ&ラボカンパニー」「技術研究所」「ワン・テクノロジーズ・カンパニー」を設立。サイバーセキュリティサービスの提供、自動運転車の開発支援、AI (人工知能) を使ったデータ解析など、新しいソリューションの創造に取り組んでいます。

「“はかる”技術で未来を創る」のスローガンのもと、これからも産業界の発展と安全で環境にやさしい社会づくりに貢献してまいります。

株式会社東陽テクニカ Web サイト : <https://www.toyo.co.jp/>

★ 本件に関するお問い合わせ先 ★

株式会社東陽テクニカ 情報通信システムソリューション部

TEL : 03-3245-1250 (直通) E-mail : ict_security@toyo.co.jp

「KnowBe4 Human Firewall アセスメント&シミュレーション」サイト :

<https://www.toyo.co.jp/ict/products/detail/knowbe4-cbt.html>

※本ニュースリリースに記載されている内容は、発表日現在の情報です。製品情報、サービス内容、お問い合わせ先など、予告なく変更する可能性がありますので、あらかじめご了承ください。

※記載されている会社名および製品名などは、各社の商標または登録商標です。